

得点	/ 20
----	------

氏名 \_\_\_\_\_

問 題 次の各取引について仕訳しなさい。(20点)

1. C社社債の期日到来済みの利札¥2,000が未記入であった。
2. 平成×年6月12日、売買を目的として額面総額¥1,000,000の社債を、額面¥100につき¥99で買入れ、端数利息とともに小切手を振り出して支払った。なお、利払日は3月末、9月末の年2回で利率は年2%である。
3. 売買を目的として所有しているA社株式10,000株のうち、5,000株を1株当たり¥6,500で売却し、代金は月末に受け取ることにした。なお、同社株式は、第1回目に4,000株を1株当たり¥7,200、第2回目に6,000株を1株当たり¥6,000で購入し、平均原価法によって記帳している。
4. 平成×年9月20日に、かねて@¥98で売買を目的として購入していた社債額面¥1,000,000を@¥99で売却し、代金は前の利払い日の翌日から売却日までの利息を含め、月末に受け取ることにした。なお、同社債は、償還期間7年、利率年7.3%、利払日6月30日と12月の年2回の条件で発行されたもので、利息は日割計算とする。
5. 前期に@¥600で購入し、前期末決算で@¥900に評価替え(切り離し法採用)した売買目的有価証券のうち2,000株を、@¥1,000で売却し、売買手数料¥15,000を控除した残額は現金で受け取った。売買手数料は、有価証券売却益または売却損に加減して処理すること。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

問 題 次の各取引について仕訳しなさい。(20点)

1. C社社債の期日到来済みの利札¥2,000が未記入であった。
2. 平成×年6月12日、売買を目的として額面総額¥1,000,000の社債を、額面¥100につき¥99で買入れ、端数利息とともに小切手を振り出して支払った。なお、利払日は3月末、9月末の年2回で利率は年2%である。
3. 売買を目的として所有しているA社株式10,000株のうち、5,000株を1株当たり¥6,500で売却し、代金は月末に受け取ることにした。なお、同社株式は、第1回目に4,000株を1株当たり¥7,200、第2回目に6,000株を1株当たり¥6,000で購入し、平均原価法によって記帳している。
4. 平成×年9月20日に、かねて@¥98で売買を目的として購入していた社債額面¥1,000,000を@¥99で売却し、代金は前の利払い日の翌日から売却日までの利息を含め、月末に受け取ることにした。なお、同社債は、償還期間7年、利率年7.3%、利払日6月30日と12月の年2回の条件で発行されたもので、利息は日割計算とする。
5. 前期に@¥600で購入し、前期末決算で@¥900に評価替え(切り離し法採用)した売買目的有価証券のうち2,000株を、@¥1,000で売却し、売買手数料¥15,000を控除した残額は現金で受け取った。売買手数料は、有価証券売却益または売却損に加減して処理すること。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	現金	2,000	有価証券利息	2,000
2	売買目的有価証券 有価証券利息	990,000 4,000	当座預金	994,000
3	未収金	32,500,000	売買目的有価証券 有価証券売却益	32,400,000 100,000
4	未収金	1,006,400	売買目的有価証券 有価証券売却益 有価証券利息	980,000 10,000 16,400
5	現金	1,985,000	売買目的有価証券 有価証券売却益	1,800,000 185,000